

「新しい総合計画（素案）に関する説明会」結果

市町村名	名張市	開催場所	長瀬公民館
開催日	9月20日（土）	開催時間	19：30～21：30 （2時間00分）
参加者数	約16名		
説明者	名張市長、企画財政部長、 秘書室長、企画財政政策室長 総合企画室長 他	【備考】	

1．開会（司会）【19：30】

2．あいさつ

・ 地区代表区長幹事

・ 市長【19：35～19：50】

3．出席者紹介（司会）

4．事項

・ 総合計画素案の概要説明（家里部長）【19：55～20：30】

・ 質疑【20：30～21：30】

Q（参加者）今回の計画策定は、時代背景の変化によるもので、偶然、市長の交替時期と重なっただけか？今回の計画では、見通しに間違いはないのか？

A（市長）（現行計画は）人口・税収・交付税が、平成22年まで伸びることを前提に策定されていますが、政治・行政は現実をしっかりと受け止めて、改革をしていくことが大事だと考えます。

また、新しい総合計画には、公約に掲げた「福祉の理想郷」という新しい考え方を入れたいと思いますが、これまでの計画を活かしながら見直すこととなります。

知事が交替して、県も新しく総合計画を策定することになり、偶然ですが、名張市で考えている素案とよく似たものになりました。時代背景が変化しているということだと思います。

Q（参加者）各種計画において、国津地区は「自然」ばかりが取りあげられているが、年金制度の違い等から、団地とは経済力に違いがあり、ゆとりにもひらきがある。ボランティアだけでやっていくことはできない。

自然を守るのは大変手間のかかることで、人的な支援を考えてもらわなければならない。

A（市長）自然・水は、名張市民共有の貴重な財産であり、守り育てなければならないと思

っていますが、地域の方々のボランティアだけに頼っている現状は、申し訳ないと思っています。今後、自然保護のために、税財源を使用するについては、市民の納得を得られるものと考えています。経済的にも、何らかの形で雇用を図りたいと思います。

また、はぐくみ工房あららぎでは、他地域の達人による催し等により、地区の活性化を図りたいと思いますし、市長認定の達人証を発行できればと思います。

都市との交流ということで、国津地区の水と自然を体験するしくみについても、考えたいと思います。例えば、私は近畿地方建設局のダム関係の副会長を務めていますが、その関係でも他地域の子どもたちを国津地区の水と自然を体験させたいと考えています。植栽についても、やってみたいと思っています。東京の豊島区とは、江戸川乱歩の関係で文化交流を進めることとなりますが、連れてくるとしたら、国津地区しかないのではと思っていますので、ご協力をよろしくお願いします。

A (総合企画室長) 自然を守ることが、甘いものではないと理解しているつもりですが、名張市にとって、貴重な資源であることに違いはありません。新しい総合計画(素案)では、リーディングプランにおいて、「農のあるまちづくりプラン」「ガーデンシティプラン」によって、自然を守る施策を重点的に推進することとしています。

ちなみに市民意識調査では、農家の6割の方が将来農業を続けていくことに、不安をお持ちであり、非農家の7割の方が現在、家庭菜園などの農作物作りをしているか、将来農作物作りをしてみたいと回答されています。この結果を踏まえて、田園や自然を守るしくみを考えたいと思います。山の手入れと併せて、間伐材を加工して商品化するといったしくみづくりもできるのではと考えています。

Q (参加者) 林業関係の補助金は森林組合を通すのではなくて、直接地元に受け入れることはできないのか?

A (市長) 補助金から交付金という考え方については、私自身がこれまでも取り組んできましたし、水源地保有税の導入等の検討についても検討しましたが、都市部では自然保護にお金がかかるということを理解してもらうのに、骨が折れます。水源地保有税については、国にやってくれればと思うのですが...

Q (参加者) 山の手入れをする職人の育成も必要と考えるが?

A (市長) 国、基礎的地方自治体においても、応援していく方向であり、生産林と自然林を区分して考える必要がありますが...

Q (参加者) 後継者の育成ということだが、素人が機械を使うのは危険である。このままでは10年すると、山林は枯れてしまう。猿、鹿による野菜の被害も拡大しているので、素人の方に耕作してもらうのは、申し訳ないという気もしている。

市広報に掲載されている説明会の日程について、もう少し大きく判りやすく扱うべきである。

A (総合企画室長) 市広報への掲載の仕方については、今後、検討いたします。

Q (参加者) 地域福祉計画を市の施策のなかでも、際立たせて欲しい。社会福祉を施策の柱に据えるべきである。国津でひとつ光るものとして、国津の自然を活かした「ヘルスパーク」を造ってはどうか？

A (市長) 福祉については、これまでもテーマとして取り組んできた、権限移譲で基礎的自治体の負う範囲が増えた。地域福祉については、これから各地域懇談会でまわるので、よろしくをお願いします。介護要望の面でも取り組みたいと思いますし、子育てについても別に取り組みをしていきたいと思っています。

Q (参加者) イベント等を開催するのは結構なことであるが、絶対数が少ないので、同じ人ばかりに負担がかかる。

A (市長) 大変なご厄介をおかけしています。市民活動支援センターを立ち上げて、バックアップ体制を整えていくところです。

Q (参加者) 長瀬、国津、滝之原地区が、過疎地にならないようにお願いします。

Q (参加者) 国津が美しく見えるように道路の景観維持を...
山道、里道の整備を行って、猿や鹿の糞をしやすいようにするべきである。

Q (参加者) 山林の多目的機能というのは理解しにくいので、上から 20~30%は広葉樹に転換するとか、できることから考えてはどうか？

A (市長) そのとおりです。

5. 閉会

パブリックコメントで、ご意見をお寄せいただきまようによろしくをお願いします。(司会)